

復興計画（第3次）参考資料

重点プロジェクトの指標

避難地域の復興・再生

1 避難地域等復興加速化プロジェクト

指 標	震災前の数値	実績値	目 標 値
避難区域等の居住人口 ※ 居住人口・避難指示などが解除された区域において、生活の本拠を有する人口であり、帰還支援の取組を通じて、数値の増加を目指す。 ※ 震災前の居住人口 146,400人（H22年3月）	—	（H31年3月） 約 64,700 人	（H32年度） 増加を目指す
避難地域の商工会会員事業所の事業再開件数 ※ 広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、鹿島区（一部）、小高区、飯館村、川俣町（一部）、都路町、常葉町（一部）、船引町（一部）の商工会会員事業所を対象。	（H22年度） 2,560件	（R元年7月） 1,798件	（H32年度） 増加を目指す
避難地域において農業を開始した認定農業者数 ※ 帰還困難区域を除く避難地域において、農業を開始した認定農業者の数であり、数値の増加を目指す。	（H22年度） 768 経営体	（H30年度） 302 経営体	（H32年度） 750 経営体以上

安心して住み、暮らす

2 生活再建支援プロジェクト

指 標	震災前の数値	実績値	目 標 値
県内・県外避難者数 ※ 県内の応急仮設住宅・借上げ住宅などへの入居者数及び県外避難者数であり、皆減を目指す。	—	（H31年3月） 41,299 人	（H32年度） 0 人
復興公営住宅の整備率	—	（H30年度） 97.5 %	（H29年度） 100 %

3 環境回復プロジェクト

指 標	震災前の数値	実績値	目 標 値
市町村除染地域における住宅除染の進捗率	—	（H29年度） 100 %	（H28年度） 100 %
東日本大震災に係る災害廃棄物の処理・処分率 ※ 災害廃棄物推定量に対する処理完了量であり、処理・処分率100%を目指す。	—	（H29年度） 100 %	（H32年度） 100 %

4 心身の健康を守るプロジェクト

指 標	震災前の数値	実績値	目 標 値
甲状腺検査の受診率 ※ 福島県「県民健康調査」甲状腺検査の対象者が検査を受診した割合であり、受診率100%を目指す。	—	（H29年度） 63.1 %	（H32年度） 100 %
医療施設従事医師数（人口10万人対）	（H22年） 182.6 人	（H28年） 195.7 人	（H29年） 200.0 人以上
・相馬エリア	130.8 人	146.0 人	増加を目指す
・双葉エリア	103.0 人	142.0 人	増加を目指す
・いわきエリア	160.4 人	161.0 人	増加を目指す
※ 県内の医療機関に従事している医師数（人口10万人当たり）であり、数値の増加を目指す。 ※ 相馬・双葉・いわきエリアの詳細は、福島県地域医療再生計画を参照。			

i 復興へ向けた重点プロジェクト

5 子ども・若者育成プロジェクト

指 標	震災前の数値	実 績 値	目 標 値
福島県で子育てを行いたいと回答した県民の割合 ※ 県政世論調査の「福島県内で子育てを行いたいと思いますか」調査項目に 対して、「はい」、「どちらかと言えば「はい）」と答えた方の割合。 ※ 震災前の数値は県政世論調査で初めて把握した数値を記載。	(H24年度) 48.3%	(H30年度) 68.2%	(H32年度) 上昇を目指す
全国学力・学習状況調査調査結果 ・小学校 国語 算数 理科 ・中学校 国語 数学 理科 ※ 全国平均正答率を100とした場合の本県の正答率であり、数値の上昇を目指す。	(H22年度) 99.4 97.0 — 99.7 96.8 —	(H30年度) 100.3 99.9 99.5 99.8 95.3 99.8	(H32年度) 103.0 以上 102.0 以上 103.0 以上 103.0 以上 102.0 以上 103.0 以上
全国体力・運動能力等調査結果 (全国平均値との比較割合：全国平均＝100) ・小学5年 男子 女子 ・中学2年 男子 女子 ※ 全国平均値を100とした場合の本県の平均値であり、数値の上昇を目指す。	(H22年度) 99.1 101.0 98.2 97.4	(H30年度) 99.4 103.3 100.3 102.9	(H32年度) 101.0 以上 102.5 以上 101.5 以上 101.0 以上

ふるさとで働く

6 農林水産業再生プロジェクト

指 標	震災前の数値	実 績 値	目 標 値
農林水産業の産出額	(H22年) 2,649 億円	(H28年) 2,323 億円	(H32年) 2,920 億円
・農業産出額 ※1 ※1 農産物、加工農産物（農産物加工施設の販売額を含む）などの産出額 であり、数値の増加を目指す。なお、数値には、農業生産関連事業を含 むものとします。	2,432 億円	2,231 億円	2,635 億円
・林業産出額 ※2 ※2 木材（素材）、栽培きのこ、薪、木炭などの産出額であり、数値の増加を 目指す。	125 億円	(H29年) 101 億円	185 億円
・沿岸漁業産出額 ※3 ※3 沿岸漁業（沖合底引き網を含む）により水揚げされた水産物のうち、 産地魚市場における販売高であり、数値の増加を目指す。	92 億円	(H30年) 22.8 億円	100 億円
農地・農業用施設の復旧率 ※復旧対象地区数 2,178地区	—	(H30年度) 83.4 %	(H32年度) 100 %

7 中小企業等復興プロジェクト

指 標	震災前の数値	実 績 値	目 標 値
製造品出荷額等 ※ 年間の製造品出荷額、加工賃収入額、修理料及びその他の収入額の合計額 であり、製造業の経済活動の状況を図る数値として、数値の増加を目指す。 ※ H26年の数値は平成26年工業統計速報より掲載。	(H22年) 50,957 億円	(H29年) 51,204 億円	(H32年) 55,174 億円以上
工場立地件数 ※ 福島県工業開発条例に基づく、敷地面積1,000㎡以上の工場の新・増設に 係る届出件数であり、数値の増加を目指す。	(H22年) 42 件	(H25～30年累計) 450 件	(H25～32年累計) 700 件以上
安定的な雇用者数（雇用保険の被保険者数） ※ 雇用保険の被保険者とは、31日以上雇用見込みかつ週20時間以上の雇 用契約に該当する被雇用者数であり、平成26年度の数値を維持しつつ、増 加を目指す。 ※ 数値は年平均値。	(H22年) 519,121 人	(H29年) 577,687 人	(H32年) 542,000 人

i 復興へ向けた重点プロジェクト

8 新産業創造プロジェクト

指 標	震災前の数値	実績値	目標値
再生可能エネルギーの導入量（設備容量） ※ 福島県内の太陽光、風力などの再生可能エネルギーの発電施設の設備容量であり、数値の増加を目指す。	(H21年度) 421.4 万kW	(H29年度) 577.4 万kW	(H32年度) 740.8 万kW以上
再生可能エネルギー関連の工場立地件数 ※ 福島県内に新たに再生可能エネルギー関連産業の工場が立地した件数であり、数値の増加を目指す。	(H22年) 7 件	(H25～30年累計) 39 件	(H25～32年累計) 70 件以上
医療機器生産額 ※ 福島県内で生産された医療機器などの生産額であり、数値の増加を目指す。	(H22年) 911 億円	(H29年) 530 億円	(H32年) 1,750 億円以上
医療福祉機器の工場立地件数 ※ 福島県内に新たに医療福祉機器関連産業の工場が立地した件数であり、数値の増加を目指す。	(H22年) 6 件	(H25～30年累計) 60 件	(H25～32年累計) 70 件以上
ロボット製造業製造品出荷額 ※ ロボット製造業の状況を計る数値として、数値の増加を目指す。	(H22年) 54.9 億円	(H28年) 41.9 億円	(H32年) 100億円以上

まちをつくり、人とつながる

9 風評・風化対策プロジェクト

指 標	震災前の数値	実績値	目標値
観光客入込数 ※ 県内観光施設ポイントの年間延べ入込数であり、数値の増加を目指す。	(H22年) 57,179 千人	(H30年) 56,336 千人	(H32年) 63,000 千人以上
教育旅行における県内宿泊者数 ※ 学校が主催する修学旅行、合宿、野外活動などの教育旅行において、県内宿泊施設に宿泊した延べ人数であり、数値の増加を目指す。	(H21年度) 709,932 人	(H29年度) 488,298 人	(H32年度) 750,000 人以上
主な県産農産物の全国平均価格との差 ・米 (単位：円/60kg) ・肉用牛（和牛） (単位：円/kg) ・桃 (単位：円/kg)	(H22年) △ 204 円 △ 76 円 △ 59 円	(H30年) △ 446 円 △ 269 円 △ 120 円	(H32年) 震災前(H22)の全国平均価格との価格差まで回復する

10 復興まちづくり・交流ネットワーク基盤強化プロジェクト

指 標	震災前の数値	実績値	目標値
防災緑地設置箇所数 ※ 多重防御のため、想定を超える津波のエネルギーの減衰を目的として設置される防災緑地の設置箇所数であり、数値の増加を目指す。	—	(H30年度) 7 か所	(H31年度) 10 か所
道路・橋りょうの復旧率 ※ 帰還困難区域を除いた数値であり、速やかな復旧を目指す。	—	(H31年2月) 97.7 %	(H30年度) 100 %
JR路線の運休区間の距離 ・JR常磐線 ・JR只見線 ※ 原子力災害や新潟・福島豪雨災害によるJR常磐線・JR只見線の運休区間（県内）の距離であり、区間の解消を目指す。	— —	(H30年度) 20.8 km 27.6 km	(H32年度) 0.0 km 0.0 km



【参考】データで見る福島の復興状況 ①

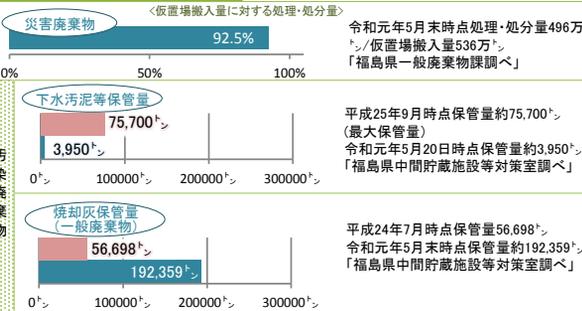
人口



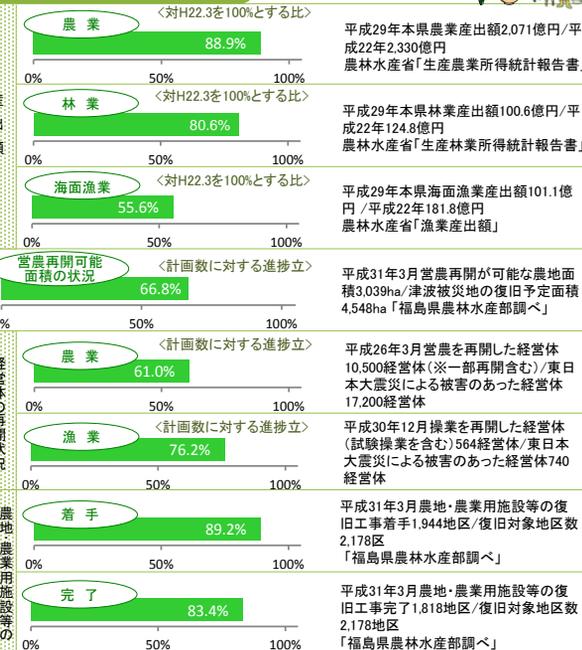
環境回復①【市町村除染状況】



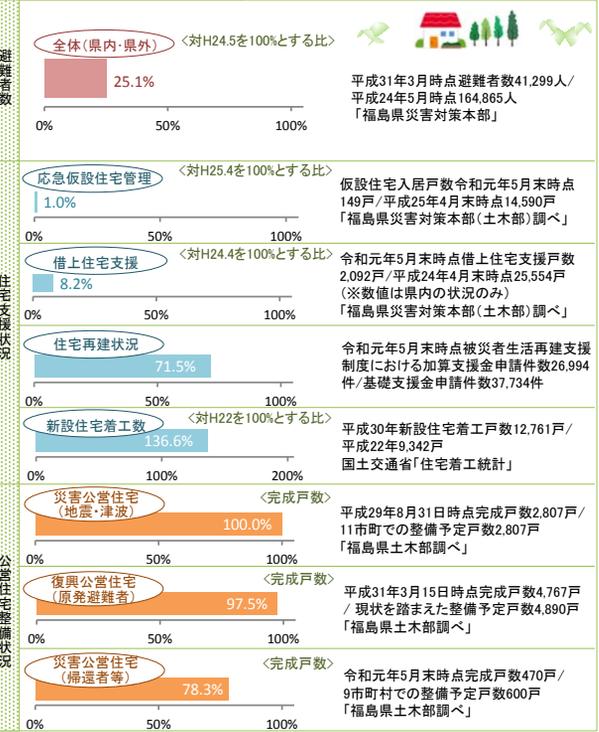
環境回復②【廃棄物処理・保管状況】



農林水産業



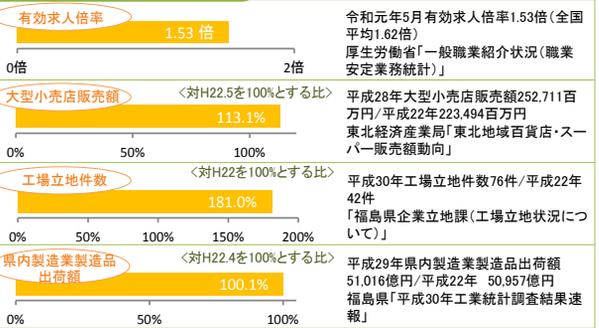
生活再建



産業全体



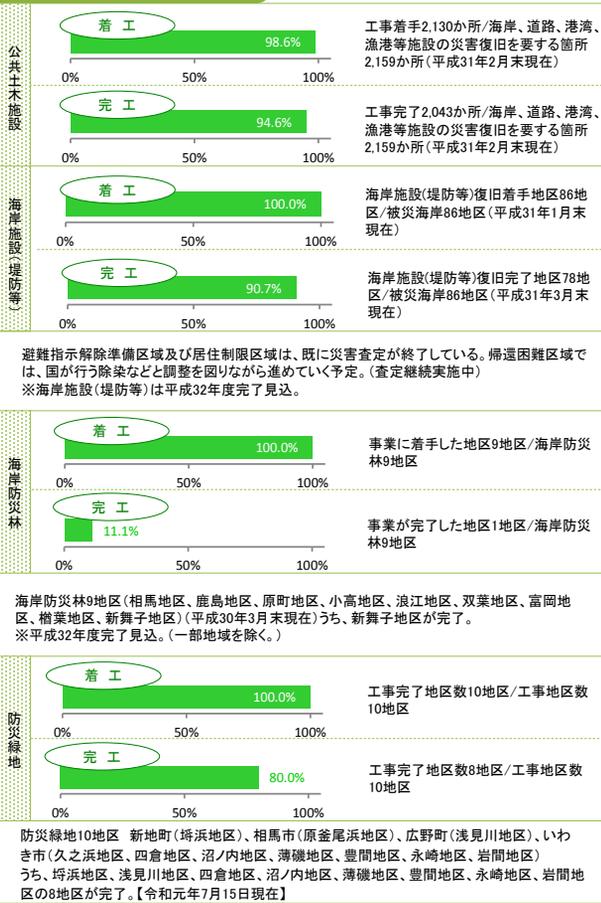
商工業



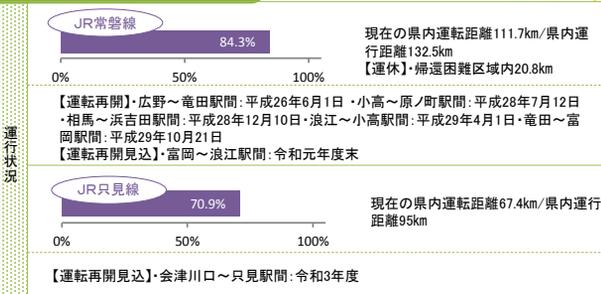
観光



公共土木施設・海岸等



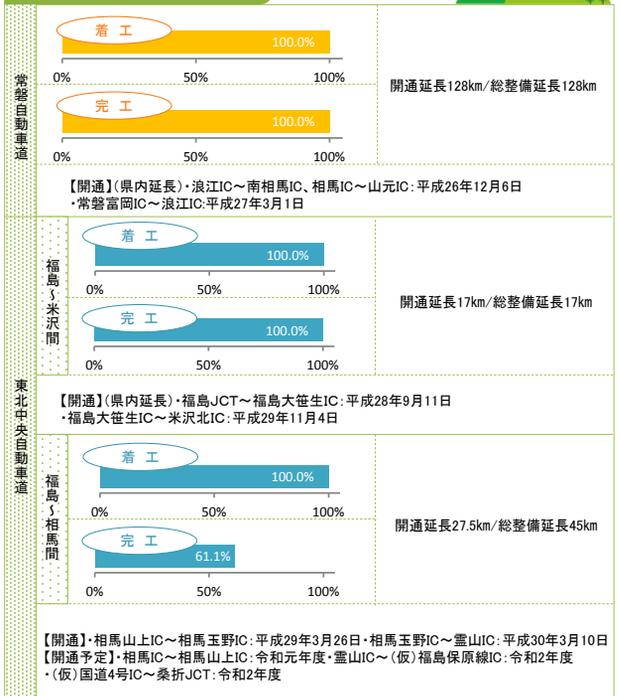
鉄道



集団移転



道路



医療・福祉施設



学校

